

2. 博士前期課程・修士課程修了

大学院の修了とは、標準修業年限以上在学し、所定の 30 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、論文審査及び最終試験に合格し、学位が授与されることをいいます。

本学東京キャンパスの大学院博士前期課程（修士課程）を修了するには標準 2 年以上在学し、部局細則に規定する履修方法に従い 30 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受け論文等審査及び最終試験に合格することが必要です。

ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については 1 年以上在学すれば足りるものとなっています。

(1) 学位

授与される学位は、次のとおりです。

研究科	専攻	コース	学位
ビジネス科学 (博士前期課程)	経営システム科学		修士（経営学）又は 修士（経営システム科学）
	企業法学		修士（法学）
人間総合科学 (博士前期課程)	生涯発達	カウンセリング	修士（カウンセリング）
		リハビリテーション	修士（リハビリテーション）
人間総合科学 (修士課程)	スポーツ健康システム・マネジメント	スポーツプロモーション	修士（体育学）又は 修士（保健学）
		ヘルスプロモーション	修士（保健学）

(2) 学位論文等審査の手続き

① 経営システム科学専攻

修士論文等正 1 部、副 2 部、学位論文審査願（指導教員の印が必要）に、論文等概要（800 字程度）、論文目録及び履歴書各 2 通

② 企業法学専攻

修士論文正 1 部、副 2 部、学位論文審査願（指導教員の印が必要）に、論文概要（800 字程度）、論文目録及び履歴書各 2 通

③ 生涯発達専攻

修士論文正 1 部、副 2 部、学位論文審査願（指導教員の印が必要）に、論文概要（800 字程度）、論文目録及び履歴書各 2 通

④ スポーツ健康システム・マネジメント専攻

修士論文又は特定課題研究報告書正 1 部、副 3 部、学位論文審査願（指導教員の印が必要）に、論文概要（800 字程度）、論文目録及び履歴書各 2 通

なお、学位論文等は 1 編に限りますが、参考として他の論文を添付することは差し支えありません。

また、提出した学位論文等は返付しません。

学位論文等上記の書類を当該専攻の指定する日に支援室教務係に提出してください。

(3) 学位論文等作成・提出の要件

研究科	専攻	コース	論文等作成・提出の要件
ビジネス科学 (博士前期課程)	経営システム科学		① 研究計画書を専攻長に提出していること。 ② 予備審査に合格していること。 ③ 修了要件である 30 単位を修得もしくは修得見込であること。
	企業法学		① 研究計画書を専攻長に提出していること。 ② 正式題目届を提出していること。 ③ 修了要件である 30 単位を修得もしくは修得見込であること。

研究科	専攻	コース	論文等作成・提出の要件
人間総合科学 (博士前期課程)	生涯発達	カウンセリング	① 研究テーマを専攻長に提出していること。 ② 各コースの履修方法に沿って必要な単位を修得しており、かつ指導教員により論文提出を認定された者。
		リハビリテーション	
人間総合科学 (修士課程)	スポーツ健康システム・マネジメント	スポーツプロモーション	① 学位論文テーマ届を専攻長に提出していること。 ② 修了要件である単位を修得もしくは修得見込みであること。
		ヘルスプロモーション	

(4) 課程修了日程について

本学東京キャンパスの博士前期課程（修士課程）の標準的な課程修了日程は次頁「参考」のとおりですが、これ以外にも、2年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、論文等の審査及び最終試験に合格した者については、各研究科・専攻の定めるところにより、第1学期末又は第2学期末に課程修了ができることになっています。

ただし、在学期間は4年を超えることができません。

[参考]

平成22年度大学院博士前期課程・修士課程修了関係日程

ビジネス科学研究科経営システム科学専攻・企業法学専攻（博士前期課程）

事項	専攻及び学位	経営システム科学専攻	企業法学専攻
		修士（経営学）又は 修士（経営システム科学）	修士（法学）
学位論文審査の願出 学生（申請者）→ 支援室 ・学位論文審査願（指導教員の承認印を必要とする） ・学位論文（正1部、副2部） ・論文等概要（2通） ・論文目録（2通） ・履歴書（2通）		2月4日（金） （18時～20時） 2月5日（土） （13時～18時）	2月1日（火） （13時～19時）
各専攻会議* 主査、副査（案）の作成		1月14日（金）	1月19日（水）
ビジネス科学研究科教員会議* 論文等受理日、受理数、論文審査委員会の設置		1月27日（木）	
学位論文審査委員会 合否の判定、審査結果の作成		2月12日（土）	2月12日（土）・13（日）
各専攻会議 修得単位、学位論文審査委員会の結果に基づき審議		2月18日（金）	2月17日（水）
ビジネス科学研究科教員会議 課程修了の審議 研究科長→学長（学位授与の決裁）		2月24日（木）	
学位記授与式（東京キャンパス）		3月26日（土）	

* 論文の提出が見込まれるものについて会議に諮る

人間総合科学研究科生涯発達専攻（博士前期課程）

事 項	コース及び学位	カウンセリングコース	リハビリテーションコース
		修士（カウンセリング）	修士（リハビリテーション）
学位論文審査の願出 学生（申請者）→ 支援室 ・学位論文審査願（指導教員の承認印を必要とする） ・学位論文（正1部、副2部） ・論文概要（2通） ・論文目録（2通） ・履歴書（2通）		1月25日（火） （13時～19時）	
各学位論文審査委員会 論文受理, 主査, 副査指名		1月29日（土）	
人間総合科学研究科専攻長会議 論文提出者数等報告		2月18日（金）	
各学位論文審査委員会 専門委員会の論文審査結果・合否判定案に基づき合否の判定		2月10日（金）	
専攻教員会議 修得単位, 各学位論文審査委員会の結果に基づき審議		2月10日（金）	
人間総合科学研究科専攻長会議 課程修了の審議 研究科長→学長(学位授与の決裁)		2月18日（金）	
学位記授与式（東京キャンパス）		3月26日（土）	

人間総合科学研究科スポーツ健康システム・マネジメント専攻（修士課程）

事 項	コース及び学位	スポーツプロモーションコース	ヘルスプロモーションコース
		修士（体育学）又は 修士（保健学）	
学位論文審査の願出 学生（申請者）→ 支援室 ・学位論文審査願（指導教員の承認印を必要とする） ・学位論文（正1部、副3部） ・論文概要（2通） ・論文目録（2通） ・履歴書（2通）		1月13日（木） （13時～19時）	
各学位論文審査委員会 論文受理, 主査, 副査指名		1月14日（金）	
人間総合科学研究科専攻長会議 論文提出者数等報告		1月28日（金）	
各学位論文審査委員会 専門委員会の論文審査結果・合否判定案に基づき合否の判定		2月9日（水）	
専攻教員会議 修得単位, 各学位論文審査委員会の結果に基づき審議		2月15日（火）	
人間総合科学研究科専攻長会議 課程修了の審議 研究科長→学長(学位授与の決裁)		2月18日（金）	
学位記授与式（東京キャンパス）		3月26日（土）	

3. 博士後期課程修了

本学東京キャンパスの大学院博士後期課程を修了するための要件

- ・ビジネス科学研究科企業科学専攻：標準3年以上(*1)在学し、部局細則に規定する履修方法に従い20単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受け論文審査及び最終試験に合格することが必要です。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については1年以上(*2)在学すれば足りるものとなっています。
- ・人間総合科学研究科生涯発達科学専攻：原則として3年以上在学し、当該専攻の定める履修方法に従い10単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受け論文審査及び最終試験に合格することが必要です。

(1) 学位

授与される学位は、次のとおりです。

研究科	専攻	コース	学位
ビジネス科学 (博士後期課程)	企業科学	システムズ・マネジメント	博士(経営学)又は 博士(システムズ・マネジメント)
		企業法	博士(法学)
人間総合科学 (博士後期課程)	生涯発達科学		博士(生涯発達科学)、 博士(カンセンギョウ科学)又は 博士(リハビリテーション科学)

(2) 学位論文審査の手続き

① 企業科学専攻

手続きは博士論文正4部、副2部と、所定の学位論文審査願(指導教員の印が必要)に論文概要(2,000字~4,000字程度)、論文目録、履歴書各正2通、副4通(*3)及び参考論文6部(*3)を添え、当該専攻・コースが指定する日に支援室教務係に提出してください。

なお、提出した学位論文は返付しません。

② 生涯発達科学専攻

博士論文[本論文及び参考論文](仮製本)と、所定の学位論文審査願(指導教員及び専攻長の印が必要)に論文概要(4,000字以内)、論文目録、履歴書を添え、当該専攻が指定する日に支援室教務係に提出してください。(提出部数は教務係で確認してください。)

(3) 学位論文作成・提出の要件

研究科	専攻	コース	論文作成・提出の要件
ビジネス科学 (博士後期課程)	企業科学	システムズ・マネジメント	① 「論文ドラフト」を提出し予備審査に合格していること。 ② 必修・選択必修科目を含む修了要件としての20単位を修得あるいは修得見込であること。
		企業法	① 予備審査に合格していること。 ② 必修科目を含む修了要件としての20単位を修得あるいは修得見込であること。
人間総合科学 (博士後期課程)	生涯発達科学		① 予備審査に合格していること。 ② 必修科目を含む修了要件としての10単位を修得あるいは修得見込であること。

(4) 課程修了日程について

本学東京キャンパスの博士後期課程の標準的な課程修了日程は次頁「参考」のとおりですが、これ以外にも、3年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、論文の審査及び最終試験に合格した者については、

8月末を除く毎月末に課程修了ができることになっています。

ただし、在学期間は5年を超えることができません。

- *1 専門職大学院設置基準（平成15年文部科学省令第16号）第18条第1項の法科大学院の課程を修了した者にあつては2年以上
- *2 大学院設置基準第3条第3項又は第16条第1項ただし書きの規定による在学期間をもって修士課程を修了した者及び専門職大学院設置基準第2条第2項又は第3条第1項の規定による標準修業年限が1年以上2年未満の専門職学位課程を修了した者にあつては当該課程における在学期間を含めて3年以上
- *3 審査委員の数により変更される場合があります

[参考]

平成22年度大学院博士課程修了関係日程

ビジネス科学研究科企業科学専攻（博士後期課程）

事 項	コース及び学位	システムズ・マネジメントコース	企業法コース
		博士（経営学）又は 博士（システムズ・マネジメント）	博士（法学）
学位論文審査の願出 学生（申請者）→ 支援室 ・学位論文審査願（指導教員の承認印を必要とする） ・学位論文（正4部、副2部）* ・論文概要（正2通、副4通）* ・論文目録（正2通、副4通）* ・履歴書（正2通、副4通）*		1月13日（木）	1月18日（火）
コース会議 主査、副査（案）の作成		1月14日（金）	1月19日（水）
ビジネス科学研究科教員会議 論文受理日、受理数、論文審査委員会の設置		1月27日（木）	
学位論文審査委員会 合否の判定、審査結果の作成		1月28日（金） ～ 2月17日（木）	1月28日（金） ～ 2月15日（火）
コース会議 修得単位、学位論文審査委員会の結果に基づき審議		2月18日（金）	2月16日（水）
ビジネス科学研究科教員会議 課程修了の審議 研究科長→学長 (学位授与の決裁)		2月24日（木）	
学位記授与式（東京キャンパス）		3月26日（土）	

* 副の部数は、審査委員の数によって変わる場合があります。

人間総合科学研究科生涯発達科学専攻 (博士後期課程)

事 項	学 位
	博士 (生涯発達科学), 博士 (カウンセリング科学) 又は 博士 (リハビリテーション科学)
学位論文審査の願出 学生 (申請者) → 支援室 ・学位論文審査願 (指導教員の承認印を必要とする) ・学位論文 (正4部, 副2部) * ・論文概要 (正2通, 副4通) * ・論文目録 (正2通, 副4通) * ・履歴書 (正2通, 副4通) *	12月4日 (土)
専攻教員会議 主査, 副査 (案) の作成	11月19日 (金) 又は 12月17日 (金)
人間総合科学研究科教員会議 論文受理日, 受理数, 論文審査委員会の設置	12月24日 (金)
学位論文審査委員会 合否の判定, 審査結果の作成	1月4日 (火) ~ 1月31日 (月)
専攻教員会議 修得単位, 学位論文審査委員会の結果に基づき審議	2月10日 (木)
人間総合科学研究科教員会議 課程修了の審議 研究科長→学長 (学位授与の決裁)	2月18日 (金)
学位記授与式 (東京キャンパス)	3月26日 (土)

* 副の部数は, 審査委員の数によって変わる場合があります。

4. 専 門 職 学 位 課 程 修 了

本学大学院の専門職学位課程 (法科大学院) を修了するには, 3年以上在学し, 法曹専攻の定める履修方法に従い95単位以上を修得することが必要です。

授与される学位は, 法務博士 (専門職) です。

本学大学院の専門職学位課程 (国際経営プロフェッショナル専攻) を修了するには2年以上在学し, 国際経営プロフェッショナル専攻の定める履修方法に従い45単位以上を修得することが必要です。

授与される学位は, 国際経営修士 (専門職) です。